



2012年3月報

Vol. 437 3月1日発行

主 題	2011 - 2012 年度	クラブ・部・区・アジア地域・国際
ク ラ ブ 主 題	「為さねばならぬ」	会長・横田憲子
阪 和 部 主 題	響き合い、ともに歩む	To walk together, echoing each other 部長・松本三枝子
西 日 本 区 主 題	ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献	理事・浅岡徹夫 (近江八幡)
		“Contribute to the Community through Active Services with Love”
々 副 題	理想を目指して変革と行動	
		“Change Ourselves and Take Actions toward Our Lofty Goal”
アジア地域主題	地域会長 Wichian Boonmapajorn (タイ)	
	“Audere est Facere To dare is to do”	「とにかくやろう- 為せばなる」
スローガン	“Mission with Faith”	「信念をもって使命をはたそう」
国 際 主 題	国際会長 Finn A. Pedersen (ノールウェイ)	
	“Audere est Facere To dare is to do”	「とにかくやろう- 為せばなる」

ターニングポイント

書記 望月 強



河内クラブの年齢が高くなり、1年が経過すれば必ず平均年齢が1歳上がります。しかし、ここで若い人が入れば平均年齢を大幅に押し下げます。平均年齢のみならず、若い力が注入されれば大きくクラブのあり方も雰囲気も変わります。

過日行われたクラブ研修会で体験

することが出来ました。若い新入会員の畠平メンが企画され進められた研修会、過去に無い進め方で、実りある研修会でした。又、河内クラブから若い正野次期阪和部長を輩出します。

彼は部長をするに当たり、熱い心の思いを文章にして、言葉に出して実行しようとしています。彼は無難に一年間の役職をこなすタイプを選ばず、自分の思いを阪和部にぶっつけようとしています。ここにも若い力を感じました。

古参メンバーの努めでもある、若いメンバーを「自由に活動できるように見守りたい」と思っています。古い昔の事例を出して「ダメ」出ししてしまいがちである。失敗を恐れずに実行して欲しいと言いつつも転ぶ前に手を差し伸べる、しかし致命的な怪我で無ければ転ぶ事も有ってもよし、その結果をみて考えるべきでしょう。河内クラブは今が岐路に立っていると思います。

若い人達が希望の有る未来に導いてくれることを期待します。

[今月の聖句] モテへの手紙6章7節～8節

「わたしたちは、何も持たずに世に生まれ、世を去るときは何も持って行くことができません。食べる物と着る物があれば、わたしたちはそれで満足すべきです。」



慾に走らず、持っているものを分かち合う心を大切にすることがTOFの精神です

【3月例会プログラムご案内】

日時：3月15日(木) 18:30～20:30

会場：サンホーム 6階

強調月間 “ EF JWF ”

司 会 : 加藤 寿枝さん

開会点鐘 : 会長・横田 憲子さん

ワイズソング : 一 同

聖句朗読 : 伊藤 圭介 君

ゲスト・ビジターご紹介 司 会 者

会長の時間 : 会長・横田 憲子さん

食前感謝 : 岩坂 正雄 君

晩 餐

インフォメーション : 当 該 者

ゲストスピーチ 「韓国あれこれ」

大島 章 氏

意見交換

誕生日のお祝い

ニコニコ・アワー 伊藤玲子さん・望月治子さん

YMCAの歌 : 一 同

閉会点鐘 副会長・宮本桂子さん

2 月 例 会 報 告

報告：丸尾 欽造

日時：2月16日 18：33～20：35

会場：サンホーム 6階

出席者：メン 伊藤圭介、岩坂正雄、尾北 昇、加藤寿枝、佐古至弘、正野忠之、新本英二、杉村 徹、中野義彦、畠平剛志、藤井敬子、丸尾欽造、宮本桂子、望月 強、横田憲子、

メネット 伊藤玲子、大藪暢子、中野涌子、初田真佐子、丸尾初子、望月治子

ゲスト なみへいリーダー（松阪 波）、チーターリーダー（竹中嵩紘） おかやまリーダー（佐伯俊幸）

ピジター 寺岡博也（大阪サウス・会長）、浜田尚美（大阪長野・会長） 鈴木良洋（部書記・大阪サウス） 中井信一（Yサ・ユース主査・奈良） 今井利子（大阪なかのしま） 白井公子（大阪長野・メネット）

以上30名

3分遅れて、司会・尾北昇君が開会を告げた。ゲスト、ピジターを多く迎えて熱気があふれる会場。ワイズソングはアカペラ。不安定な立ち上がりで、二部合唱になったようだ。

横田憲子会長は、東日本大震災の犠牲者を覚えて黙祷をうながされた。また今年はファンドの袋を回していないが、震災被災者支援活動への更なる理解と協力を要請され、特に3月にクラブが主催する震災支援チャリティコンサートへのチケット販売など再度の要請をされた。長年、サンホーム・東YMCAの館長として重責を果たされてこられた尾北昇君が4月の異動で去られること、また東YMCA所長として青少年活動に献身されてこられた鈴木えみさんの異動にあたって、お二人に感謝の意を表し、益々のご活躍を祈念された。

**チーターリーダー・なみへいリーダー・おかやまリーダー
「東日本大震災支援活動「たこバ」報告」**

東YMCAリーダーが、宮城県南三陸町で展開した被災者支援活動「たこバ」については、鈴木えみさん（東YMCA所長）がブリテン1月号に特別寄稿としてレポートを寄せてくださいました。その中には、9月に大阪Y主催のキャラバンに参加したリーダー達が、次は自分たち自身の計画で「現地で支援活動をしたい」とした動機から、資金集めや準備のプロセス、そして現地での臨場感あふれる活動の様子や若者を側面から支えてくださった各方面の方々への敬服の思いなどが伝えられていました。

今回、11名のリーダーと参加は果たせなかったが、その資金集めや準備に加わったすべてのリーダー諸君の思いを聞かせていただく例会として、3名のリーダーから直接お話を聞かせていただいた。ボランティアリーダーとして、日常プログラムの間隙を縫っての準備と現地入りは、当然のごとく強行軍をよぎなくされ、大変だったことは充分伝わってきた。そして彼らをここまでして突き動かした「動機」こそがすべてのベースになっていて、今回のお話を通して彼らをあらためて「見つめなおす」

貴重なひとときを与えられた。

現地へ向うまでの彼らの心境が、被災地へ入り痛ましい現実を眼と肌で実感し、さらに被災者との交流を深めてゆくに従って大きく変化してゆく過程が一編のドキュメンタリーとして印象に残りました。お話いただいた内容を詳細に記述することができないのは残念ですが、鈴木えみ所長が直視された現地レポートをもう一度読み返していただければと思う。

3月に、第2段として再度挑戦される予定とか。ワイズメンも遅れを取ることなく支援を続けていくことが求められている。



南三陸の仮設住宅で「たこバ」を開いたリーダーの活動報告
チーターリーダー（左）と、なみへいリーダー（右）

鈴木良洋阪和部書記・中井信一Yサ・ユース主査が来訪



報告する鈴木・部書記

福島へ安全な飲料水を！！

東日本大震災支援事業として阪和部が取り組んでいる「福島県内聖公会の幼稚園に水を贈る運動」が、その第1回目として1月21日に届けられたことを鈴木阪和部書記からご報告された。この運動は、放射能汚染地区の子供たちへ安全な飲料水を贈るというもので、今回は2Lボトルで1200本が、テモボランティアセンターに届けられた。今後とも支援活動を続けてゆくために阪和部各クラブや個人のご協力を要請された。



アピールする中井主査

YYYフォーラムで共に交流を！！

昨年に続き、今年度は更にワイズメン、YMCA、ユースリーダーが交流できる時間をもちたいと考え、「東日本大震災被災者支援報告会（私たちは忘れない）」として、被災地ボランティア活動に参加した皆さまの報告を中心にフォーラムを開催します。3月3日に、多くの皆さまのお集まりを頂きたいと、中井Yサ・ユース事業主査からアピールがありました。（次ページへ）



多くのゲスト、ビジターを迎え震災支援活動に触れた2月例会
(前ページより)

伊藤玲子メネット会長は、西日本区理事の呼び掛けによる東日本大震災復興支援献金に込めて、3万円の拠出を決めましたと、力強い報告があり、河内なでしこの意気込みが示された。

大阪長野クラブ会長・浜田尚美さんから、クラブ設立35周年記念例会開催のご案内があり、4月1日のエイプリル・フールの日ですが、本当に開催しますので、会場を笑わせた。また、同クラブに白井公子さんから、お菓子の土産をいただき会場の皆さんでいただいた。

大阪なかのしまクラブの今井利子さんから、15周年記念例会出席いただいた方々からのお心をまとめ震災支援のために贈られたこと、またクラブとしても30万円のご献金がなされたことなど、活発なご奉仕の様子が報告された。

女性パワーの一端があふれ出した例会でもあったと言えるのではなからうか。ニコニコのメッセージと共に寄せられた献金は、21850円。感謝してご報告いたします。以上

第37期2月役員会 議事録

報告：直前会長・大谷美佐子

日時 2012年2月23日(木)19:00~20:30

場所 東YMCA

出席者 大谷・横田・望月・芳澤・中野・伊藤・正野・宮本・佐古

3月例会 3月15(木) サンホーム

(A)班担当 宮本・芳澤・望月・伊藤・岩坂
加藤・山内

ゲスト 大島 章氏 「韓国あれこれ」
司会・加藤君、聖句朗読・伊藤君、食事手配・宮本君、食前感謝・岩坂君、ニコニコ・伊藤メネット&望月メネット、受付・宮本、田中、藤井君
音楽担当・会計兼任

4月号ブリテン原稿

3月例会報告・岩坂君、3月例会にこにこテープ起し・望月君、役員会報告・望月君、Yニュース・鈴木えみさん、サンホームニュース・尾北君
巻頭言・正野君 原稿締切は 3月25日

《審議事項》

- 3月例会A班 (宮本・芳澤・望月・伊藤・岩坂・加藤山内)
- 4月例会B班準備ゲストスピーカーの件
リッツカールトン大阪の担当者に依頼する。(正野さん交

渉)

- 3月11日(日)車いす清掃の件・・・20台清掃予定
12:00~3:00(2;30よりティータイム)
2/23現在の参加者 佐古・芳澤・大谷
望月メ丸尾メ・初田メ
大商大より応援 10名
- 3月20日 チャリティコンサートの件
2/23現在のチケット販売数...・67枚
3月3日のYYYフォーラムに於いて販売予定
- 西日本区事業主任制度変更見直しに関する提言の件・・・
下記のような意見が出る。
・事業のスリム化は賛成
・国際事業の新設は必要
・地域奉仕・環境事業とEMC事業を統合しても良いのでは
・IT時代であるためIBCの考え方の見直しが必要
・各委員会も整理する必要がある。
- 奈良伝賞推薦の件
今年度は候補者を推薦する方向で準備する。
- 次期阪和部に関して
次期阪和部部長の正野メンより河内クラブへ要請あり
・部報に関して・・・今期事務局長 東の協力申し出あり。
・阪和部会に関して・・・実行委員長は皇平剛志君。
河内クラブは全面的に部長を支援する。
- ユースリーダー3月被災者支援活動の援助に関して
クラブより1万円支援することが承認される。
- 第16回 らくらく登山「基本プラン」の考え方と事前打ち合わせ日程について
・車いす 20台(昨年と同数)
・第1回実行委員会 (委員長 正野) 3/5 or 3/9 に予定
・参加者 河内クラブ・サンホーム・みどり公社・パークレンジャー中部チーム・リッツカールトン大阪・その他ご支援くださる各団体・個人の方々
・スポットサポート応援 (皇平担当)
今年度はフェイスブックに掲載し、ネットを通して若い人に協力を呼びかけてみる。
・リッツカールトン大阪のカラーをお願いしては・・・例えば 「あったかい食事など」

《予定・報告事項》

- 第5回 西日本区大会6月9日・10日 滋賀県立文化産業交流会館・長浜ロイヤルホテル
2/23現在参加確認者 横田・正野・望月・望月メ・佐古
- 阪和部評議会報告
・次次期部長選出2月末まで候補者受付、無い場合は輪番制で大阪泉北クラブ(候補 飯沼氏)
・新年合同例会余剰金は雑収入に入れる。
・東日本大震災支援(飲料水)を福島県の幼稚園に支援、今期数回実施予定。
- 2月25日(土) 「なごみ」・チャリティショップ
- 3月3日(土) * YYYフォーラム開催13:30~15:30 南YMCA
メネット食事に12:00~
* 東YMCAユースリーダー感謝
* 東YMCAボランティア感謝会
18:00~
- 事業委員長の方は、審議事項の提案をお願いします。
以上

「ワイズの意義・魅力を考え」「どう伝えるか」

クラブ研修会報告

報告：畠平剛志

開催日 平成24年2月4日(土) 13:30~18:00
 会場 大阪市立中央会館
 出席者 正野忠之、大谷美佐子、宮本桂子、望月 強、丸尾
 欽造、中野義彦、佐古至弘、新本英二、田中惟介
 横田憲子、岩坂正雄、畠平剛志、丸尾初子
 以上13名

2月4日土曜日 13時30分から18時まで、中央会館にてワ
 イズ研修会を実施いたしました。

第1部では「ワイズの意義、魅力を考える」を主題としてワイ
 ズの歴史を振り返りました。

1976年野外活動事故について詳しく伺い、当時から「YMCAをワ
 イズメンズクラブが支える」活動をしている事を再確認いたし
 ました。

第2部では正野次期阪和部長より会員数の減少や役員を担う
 人材の減少予想という危機感が提示され、その解決案として若
 年者への支援とYMCAとの連携強化が示されました。

第3部では「ワイズの意義、魅力を伝えるにはどうすればよい
 か」を主題として他者に河内ワイズの事を伝えるスローガンの
 ようなものを考えようと議論いたしました。熱い意見が百出
 し、残念ながらスローガンとしてはまとまりませんでした。

しかしながら「種を蒔く」(新たな事業を始める)「育てる」(組
 織運営する、事業を継続する)「収穫する」(事業を再評価して
 修正する)のうち、現在は「育てる」運営面に重きが置かれず
 ぎているのではないかと「種を蒔く」ことと「収穫する」
 こともしっかり行おうという方向性が打ち出されました。

そのために「出来る事から実行する」例として、例会の評価会
 を行う(「収穫する」)や、リーダーやリーダーOBの集まりの場
 を作る(資金等のかからないFacebookなどを使う事から始める)
 ことにより支援していく(「種を蒔く」)ことなどがあげられま
 した。

この後、場所を「MA~なべや大阪店」に移し、懇親会を実施い
 たしました。懇親会では同じ鍋をつつきながら、研修会の熱気
 を引きずりつつも和やかな雰囲気の中で杯を酌み交わしました。

□□ 研修会を終えての感想 □□

第1部だけの参加でしたが、

河内クラブの成り立ちと沿革について、まとまった解説があ
 ればよかった。(ブリテンに連載中の丸尾さんが適任)

高齢化が進むメン・メネットの年齢相応の活動のあり方を考
 えさせられた。

Y側からスタッフ(館長)が出席してほしかった。畠平メン
 の心づかいとリーダーシップに感心しました。(岩坂正雄)

今回の研修会では皆様の熱い思いに触れる事が出来、私自身
 のワイズ活動に参加するモチベーションが上がったように思え

ます。ワイズ研修会の企画をお任せいただいた横田会長、また
 開催まで色々とお話を伺っていただいた正野さん、そしてご参
 加頂いた皆様、本当にありがとうございました。(畠平剛志)

先日の河内クラブ研修会にてY'sクラブの意義と魅力につい
 て話し合いました。私たちY'sクラブはロータリー、ライオン
 ズのクラブと意義が違い、私たちY'sクラブはキリスト教精神
 をある程度理解してYMCAを通じて奉仕活動や地域のために
 幅広く活動するクラブであると理解していますが、現実にはキ
 リスト教にも若い方には理解が得られず若者の入会者が少ない
 今、私たちY'sは何を残しクラブの目標を明確に示すことが大
 切な時期と思います。そのためにクラブの活性化と良い奉仕活
 動による意義と魅力を表しY'sクラブとして若い方々に理解し
 ていただき入会してもらいクラブの活性化を進めて行けばと思
 いました。研修委員の方々ご苦労さまでした。(佐古至弘)

2月4日に大阪市内で開かれた研修会は、河内クラブに新し
 い空気が吹き込んだ時間だったように思います。研修会の担当
 は畠平さん。お父さんがワイズメンでありながら、ワイズのこ
 とをほとんど知らない畠平さんが、誰かにワイズを伝えるとし
 たら、どう伝えたらいいのだろう?という疑問をテーマにして
 投げかけた研修会でした。私自身も、今はリーダー支援を心
 の中に置きながら活動をしているものの、数年前まで「ワイズで
 自分は何をしているのだろう」といった疑問符だらけの時期が
 ありましたので、このことをテーマにするのは大賛成でした。
 気づきもあり、新しい発想を学ぶことができ、寒い時期の開催
 でしたが、参加したみなさんの心は温まったのではないでしょ
 うか。(正野忠之)

「ワイズメンズクラブの意義ってなんだろう」「ワイズの魅
 力ってどういうところだろう」、そして「ワイズを知らない人に
 ワイズを伝えるには」と、研修のテーマをワイズに置いたとこ
 ろに、なぜか「新鮮さ」と「覚醒」を感じた。正面からワイズ
 と対峙しようとする研修会は久しぶりだったからだろうか。

今回の研修会が衝撃的であったのは、ワイズ歴の最も浅い畠
 平剛志君が、コーディネーターとして討論の「交通整理」を見
 事にこなし雑談の奈落に落ちることがなかったことと、重苦し
 さはなく軽妙な展開に終始したこととと思っています。ワイズも
 常に羽の手入れをおこたってはなりませんね。リフレッシュさ
 せていただき感謝します。(丸尾欽造)



綱領を読破し身につけるか、深い歴史からくみ取るか、机上に学ぶ
 か、実践の体験から学ぶか、それぞれの論理に熱いものがありました

阪和部第3回評議会 報告

報告 会長 横田憲子

日時：2012年 2月18日(土) 4:30~16:40

会場：大阪南YMCA 4階 401号

出席者：正野次期部長・大谷EMC主査・宮本副会長・横田会長(以上河内クラブ4名) 他23名

部長挨拶では西日本区事業主任の制度の見直しを各クラブでまとめて頂きたい(但し、1人1人の意見を大切に)という説明がある。各クラブ会長・連絡主事報告(阪和部報に掲載以外の部分や特徴的な報告)がなされる。3月3日のYYFフォーラムをメン・メネットとユースリーダーの震災支援の報告を中心に開かれる。8月のノルウェーのユースコンボケーションに推薦&支援して欲しいこと。認知度が低いがロールバックマラリアの支援のお願いとゲストスピーカーとしても可である。各クラブが、増員の取り組みに工夫して欲しい。

審議事項

1号議案 第2回評議会議事承認の件

賛成多数で承認

2号議案 次々期部長選出の件

次々期部長に泉北クラブより飯沼 眞メンが薦選され賛成多数で承認される。

3号議案 新年合同例会の会計報告と余剰金処理の件

余剰金¥35,353円を部の雑収入とすることに賛成多数で承認される。

4号議案 東日本大震災支援(飲料水)承認の件

クラブによっては水の安全に疑問を抱く人、福島風評被害をあおることになりはしないか、など意見も出ているが部の支援として賛成多数で承認。

5号議案 次期における、次々期部長選出の件

本来次期における次々期の部長選出を2011年12月までに決めるところが今期はまだ決まっていないので2月末までに立候補を受け付けた後、3月末までに輪番制でクラブ決定を松本部長に一任される。

浜田監事が主査も会長もしっかりした発表があったという講評で4時40分閉会点鐘で終了。

以上



クラブ研修会は、畠平剛志君のコーディネートで盛り上がりました

「メネット会ミーティング」の記録

今期も後半期に入り、今後の活動方針などについてのミーティングが開かれました。以下の通り、いくつかのテーマにそって協議し、その方向が確認されました。

日時：2012年2月16日(木) 16:00~18:00

出席者：伊藤玲子、大藪暢子、中野涌子、初田真佐子、丸尾初子、望月治子

「東日本大震災・復興支援献金」へ新たに3万円を献金

1. 先日の中間報告の通り、手芸工房での作品の売り上げ金はおよそ85,000円。前期繰越金を入れると現在およそ110,000円の残高となっています。
2. 和田林さん(元メネット)から頂いた作品(根付け37個)は、ほぼ売れました。お礼については、以前の経過を参考に、その売上金の一部を材料費としてお渡しする(5000円見当)尚、お礼状は、伊藤玲子メネット会長からすでに発信されています。
3. リーダーのフリーマーケット向けに、正野忠之メンに委託してある作品(猫バサミ)の取り扱いについては、正野忠之メンに委ねる。
4. 親睦プログラムについては、担当幹事として、中野さん、望月さんをお願いする。一泊は無理と思われるので日帰りとし、平日に実施する。行き先等プログラム内容については、現時点では検討中。尚、実施日は、4月第2週(4/10~4/12)が望ましい。申込後のキャンセルについては企画決定後に決める。元メネットの方の参加を呼び掛ける。会からの補助についても話題として上がった。
5. 今後の活動については、今後の区メネット事業への献金は一応終了したので予定していないが、震災支援活動は様々な形で今後も展開が予想されるので、対応できる姿勢は整えてゆきたい。サンホーム居酒屋「なごみ」の奉仕活動は、次期クラブ会長の宮本さんの方針にそって対応してゆく。実施にあたっては、最低6名の人数が必要。人数確保が出来るかどうかについては、メネット会でも検討が必要と思われます。
6. 5月メネット例会プログラムについて、横田会長から要望の有無について問い合わせがあった。ゲストスピーカーとして、保健婦さんのお話が面白いと提案があり、三上真智子さん(東大阪市保健士・トールペイント講師)を候補者として上がった。関係先へあたる。
7. 西日本区理事から要請のあった「東日本大震災復興支援献金」に、メネット会として献金することが提案され、予算が確保できることから30,000円を献金することで決定しました。

以上 記録受託：丸尾欽造

〈温故知新〉 ⑥

東大阪地域におけるYMCA活動の歩み

発展計画 青少年センターの建設(続編)

開館、設備については、約700坪の土地のうち、北東部約200坪部分に軽量鉄骨2階建て延べ200坪程度の会館を建設し、残り500坪は、グラウンドとして確保、整備する。設備内容は、遊戯室(ホール、集会室) 会議室、事務室、指導者室、面談室(セラピールーム) ロッカー室、シャワー室、倉庫、洗面所、ロビーなど、グラウンドでは、マルチプルユースコート(テニス、バレー、バスケットなど) シャワー室、ロッカー室などを設ける。

建築費、資金については、募金2000万円、借入金5000万円、合計7000万円とする。

人的体制は、主事1名、体育専門職2名、事務職2名、保母5~10名、有志指導者50名とする。財政規模は、初年度5000万円、3年後7000万円とする。

募金活動は昭和55年10月開始、建築着工同年10月、完成昭和56年3月、開館同年4月とすることなどを定めて、南YMCA運営委員会に提案した。

南YMCA運営委員会は、翌55年1月25日、「南YMCA30周年事業企画」を決定し、5月18日(日)に開催された南YMCA創立30周年記念式典において、30周年記念プロジェクトのひとつとして「東YMCA10周年計画の達成」を組み入れ、いよいよ東大阪YMCA青少年センター建設の具体化に着手することになったのである。

建設計画と募金活動

その後、青少年センター建設プランは、各所において慎重に検討され、昭和55年(1980)11月9日、東大阪スポーツ広場(センター建設予定地)において目標1000万円を目指して「建築募金キック・オフ・ミーティング」を開催、関係者約100名が出席するなか、募金委員長中村勝吾(南YMCA運営委員長)から「この募金活動を通してますます地域における人々の連帯を深めYMCAづくりに力を合わせよう」と、力強い決意表明がされ、募金活動が開始され、当日だけですでに460万円の申込額に達した。その後募金活動は順調に進められ、翌56年3月には目標額1000万円を突破した。

東大阪YMCA10周年を迎えた昭和56年(1981)7月4日午前11時から、大阪YMCA関係者約50名が出席するなか、大西邦彦(東大阪キリストの家の教会牧師)司式により「東大阪YMCA青少年センター」起工式が行われた。

この青少年センターは、最終的には軽量鉄骨2階建て延べ490㎡(150坪) 設備内容は、小体育ホール、集会室、会議室、図書室、指導者室、事務室などとなり、設計施工吉田建設、建築費5550万円、完成後の事業は、従来の体育教室、野外活動に加えて各種スポーツ教室、教育文化活動(婦人英会話サロン、子供たちの学習プログラムなど)となった。

10周年事業の達成 青少年センターの竣工

センター(建設地・東大阪市御厨600-12)の建築工事は、

地盤軟弱のため基礎工事が若干遅れた模様であるが、その後は順調に進展し、1981年(昭和56年)11月19日(木)午前11時から完成した新会館1階ロビーにおいて、関係者150名が出席するなか、厳粛に竣工式が挙行された。

青く澄みわたった秋空のもと小春日和に恵まれて、大阪南YMCA運営委員長中村勝吾司会、東大阪YMCAリーダー田中幸子奏楽、東大阪キリストの家の教会牧師大西邦彦の司式、によって厳かに挙行され、式辞に続いて総主事田中譲二による経過報告、東Y発展計画委員長伊藤圭介による竣工記念銘除幕、理事長尾形繁之による挨拶のあと、青少年センター建設協力募金委員長ならびに株式会社吉田建設に対する感謝状の贈呈に続いて、伏見格之助東大阪市長と森茂一郎近畿日本鉄道株式会社副社長の祝辞、次期総主事宇野義雄による謝辞をもって竣工式を終了し、引き続き祝賀パーティが新築の体育ホールで開催された。

パーティでは副総主事酒井哲雄による挨拶のあと、サウスワイズメンズクラブよりレクチャーアンプ1台、河内ワイズメンズクラブより金一封200万円が東大阪YMCA活動委員長望月強に贈られた。その後、東大阪市子供育成連絡協議会会長北尾利一の乾杯の音頭で祝宴に臨み、歓談のときをもった。またアトラクションとして関西韓国YMCA(アジア青少年センター)の師範金聖玉による韓国舞踊(長鼓舞・チャンゴチュム)が披露され、雰囲気盛り上げた。

ここに完成した東大阪YMCA青少年センターは、鉄骨造耐火建築2階建て延べ444.24㎡(134.6坪)のクリーム色のスマートな建物で、1階には体育ホール(9m×16m)とホール兼ロビー、事務室、トイレ、シャワー室、2階には、チャペル兼会議室、研修室(6×7m)2室があり、付属設備として約500坪の多目的グラウンドが完備された。

なお、昭和55年10月に、1000万円を目標にスタートした建築協力募金は多くの人の協力援助を得て、竣工式当日現在、募金件数442件(個人389件、団体53件) 募金達成額15,004,149円となり、目標を大きく上回り、竣工式の席上、尾形理事長より協力募金委員会に感謝状が贈られた。

なお、完成した会館の最初のプログラムとして、東大阪YMCA発展に大きな力を尽くされ、センターの完成をまたず天に召された故仙波漸主任主事の記念会が竣工式当夜(11月19日)河内ワイズメンズクラブの主催で開催された。また東大阪YMCAは、青少年センター竣工記念オープンプログラムとして、多彩なプログラムを計画実施し、多くの地域住民や会員ファミリーが参加、青少年センターの完成を祝った。

完



「東大阪地域におけるYMCA活動の歩み」東YMCA10年史は、今回で終わります。会館建設募金協力者の銘盤は、現在のサンホーム6階に掲げられ当時を思い起こさせてくれます(写真左)

2月例会の余韻

ニコニコ語録集



寺岡博也(大阪サウスクラブ会長): 河内クラブは色々催しをしているので見習いたい。鈴木良洋(阪和部書記): 私は東北の出身です。津波のあった所は奥羽山脈からの突風でとても寒いです。今月来月行く方はどうぞ気をつけてください。

中井信一(Yサ・ユース事業主査): リーダーのみなさん、ありがとうございました。YYYフォーラム「私たちは忘れない」というテーマでアピールに来ましたが、我々も忘れないように支援して行きたいです。今井利子(大阪なかのしまクラブ):

私がYサ主査をしたころはYYでしたが、今ユースの皆さんが来られているのも時代の流れかなと思います。新本英二: 今日色々変わった話が聞けました。ありがとうございます。この時期、被災地の方々は寒い思いをしていると思いますが、我々は暖かくしてあげられない。政府もすべて後手後手になってい

ますが、被害にあった方は復興に期待している。佐古至弘: リーダーは若いから被災地に行こうと思えるので素晴らしい。私のような80歳ではいけない。頑張ってください。畠平剛志: 去年のゴールデンウィークに被災地へ行ったが、バスで12時間は辛いですね。私は帰りは飛行機にしました。被災地へ行った人の情報は現在進行形でとても頼りになります。岩坂正雄: もう一度支援に行こうという意気込みは素晴らしい。3月の支援も、体を大事にして、頑張ってください。加藤寿枝: リーダーのみなさん、体に気をつけて頑張ってください。杉村徹:

丸尾さんのだじゃれの後はやりにくいです。リーダーにはそれぞれ出来る事をしていて素敵です。中野義彦: 支援には直接支援するという事と、支援する人を支援するという方法があり、両方大切だなあと感じました。中野涌子: 今日のお話は心にぐっと来ました。ありがとうございました。初田真佐子: リーダーさんご苦労様です。ささやかですが募金させていただきます。望月治子: リーダーのみなさんへメネット会で頑張っ

て少しでも支援させていただきます。大藪暢子: 主人の75歳の祝いありがとうございます。孫が成人するまで頑張ろうと言っているの、私も大変だなあと感じています。リーダーも良い経験をした気持ちをお忘れなくて。伊藤玲子: 被災地まで12時間もかけて行くの、大変やったなあと感じます。ささやかですがメネットの事業でこれからも気持ちを込めて社会に貢献できることをやって行きたいと思

います。心が若返りました。今日はありがとうございました。たこ焼き食べたかったです! 伊藤圭介: まじめな話、リーダーが被災地に行くには放射線測定器が必要ではないかと感じます。白井公子(大阪長野クラブ) 自分のクラブではリーダーと接することがないので、とても楽しかった。今日は結婚44周年です。浜田尚美(大阪長野クラブ会長): 今日

は周年のアピールに来ました。リーダーさんのお話が聞けて良かったです。リーダーさんこれからも体に気をつけて頑張ってください。岡山リーダー: 東北の活動については二人から報告があったと思います。支援、ありがとうございました。3月にまた行きますのでよろしくお願

いいたします。なみへいリーダー: たくさん

の激励をいた

だいて、皆様に感謝しきれないです。ありがとうございました。尾北昇: リーダーの皆様、貴重な体験をさせて、また行かれるという事で頑張ってください。元YMCAの池田さんが宮古のボランティアセン



ターで頑張っていますが、4月から堺市の学校の校長として就任されるとの事で、大阪YMCAでは後任の準備が進んでいます。ボランティアが最初は沢山入っていたのですが、今は減ってきたと聞いています。今後も長く支援して行くようにしたいです。私が今日でワイズとして例会に出るのが最後になります。8年前にワイズに来た時、会長は初田さんでした。初田さんから「ワイズメンズクラブは楽しむ所だ」といわれ、楽しむようにしてきました。今日も1日楽しく過ごせました。今後またお会いすると思います。よろしくお願

3月例会 ゲストスピーカーのプロフィール

大島 章 氏(おおしま あきら)テーマ:「韓国あれこれ」1985年生まれ。天理大学国際文化学部アジア学科で韓国・朝鮮語を専攻し、韓国語に興味を持ったことがきっかけで、在学中に韓国へ1年間留学する。また幼少期よりサッカーを習っており、今でも友人とクラブで続けている。大学卒業後、大阪YMCAに奉職。南YMCA ウエルネス事業部に配属され、3年間、韓国語とサッカー技術を生かして、主に子どもたちへのサッカー指導や在日韓国・朝鮮人のファミリーを対象にしたプログラムで活躍をされる。3年間の大阪YMCA勤務中においても韓国への興味はますます深まり、2011年3月に大阪YMCAを退職、同年4月から、韓国鉄鋼商社に就職し、語学と国際感覚を生かしてグローバルな働きをされている。

今年度 卒業するユースリーダーの皆さん

北田利恵(ラム)	野外	八戸ノ里
松阪 波(なみへい)	野外	八戸ノ里
宮川 肅(いかやき)	サッカー	八戸ノ里
石室綾子(チロル)	野外	八戸ノ里
玉城龍一(カレーライス)	バスケット・サッカー	同
佐伯俊幸(おかやま)	サッカー	八戸ノ里
中西 里 英	水泳	桃の里
池田 藍	水泳・野外	桃の里

ロシア情報 ◆ 3月下旬、サンクトペテルブルグから

Elvi Usmanova (Smena Y's men's Club) さんが

来阪される予定。詳細は3月例会でご報告いたします

今月の強調月間メッセージ

3月 EF・JWF

個人や家族、またクラブの周年などを記念して、
ワイスダムの発展のため、感謝の気持ちを献金と
いう形であらわしましょう。

三牧 勉 ファンド事業主任

会 員 数	21名
(特別メネット会員数)	1名
2月例会 会 員 出 席 者	15名
メイクアップ	3名
2月の出席率	85.7%
ゲスト・ピジター出席数	9名
メネット・コメット出席数	6名
例会出席者総数	30名
役員会出席者数	9名
2月延べ出席者	42名
2月ニコニコファンド	21,850円
同 今 期 累 計	121,415円

復興支援

チャリティコンサート

宮沢賢治の朗読をフランスシターの調べに
のせて 岩手・花巻の方言で紡ぐ
「宮沢賢治の世界」

朗読：すがわら てつお

フランスシター演奏：いしだ むつみ

演目 雨二モマケズ・花巻農学校精神歌
賢治最後の手紙・永訣の歌 他

日時 平成24年3月20日(祝)

16:00~17:40

会場 東YMCA サンホーム 6階

近鉄奈良線「八戸ノ里」駅下車

北東へ徒歩10分

入場料 1500円

チケット販売 東YMCA 06-6787-3733

主催 大阪河内ワイスメンズクラブ

2012 3 Mar. >> 4 Apr. スケジュール

- 3月 3日(土) ・東YMCA 運営委員会
・阪和部「YYY フォーラム」
13:00~15:30 南YMCA
- ・阪和部メネット食事会 12:00~
南YMCA 会費 2000円
- 3月11日(日) ・サンホーム車椅子掃除
13:00~15:00
- 3月15日(木) ・クラブ第一例会 18:30~20:30
- 3月17日(土) ・阪和部第2回EMC推進委員会
14:00~16:00 南YMCA
- 3月20日(火・祝) ・震災復興チャリティ
コンサート(サンホーム)
16:00~17:40 入場料1500円
- 3月22日(木) ・クラブ役員会 19:00~21:00
- 3月24日(土) ・サンホーム「なごみ」奉仕
16:00~19:00
・震災支援チャリティショップ
15:00~ サンホーム
- 4月 1日(日) ・大阪長野クラブ35周年記念例会
12:00~14:30
河内長野市立市民交流
センター 会費¥5000
- 4月15日(日) ・大阪高槻クラブ30周年記念例会
14:30~18:30
高槻京都ホテル
会費 ¥10000
- 4月19日(木) ・クラブ第一例会
18:30~20:30
- 4月22日(日) ・京都パレスクラブ40周年
プラス1記念例会
16:00~20:00
京都オークラホテル
会費 ¥10000
- 4月26日(木) ・クラブ役員会
19:00~21:00
- 4月28日(土) ・サンホーム「なごみ」奉仕
・震災支援チャリティショップ

Happy Birthday

3月 2日 藤井 敬子 さん(うお座)

3月16日 佐古 至弘 君(うお座)



3月 29日

岩坂 正雄 君(おひつじ座)

第37期 2011/2012年 クラブ役員

会 長・横田憲子	Yサ・ASF・田中惟介
副会長・宮本桂子	地域奉仕・佐古至弘
直前会長・大谷美佐子	EMC ・望月 強
書 記・望月 強	ファンド・新本英二
芳澤伸之	交 流・岩坂正雄
会 計・田中惟介	広 報・伊藤圭介
藤井敬子	メネット・伊藤玲子
連絡主事・杉村 徹	会計監査・新本英二

発行者：横田憲子 編集者：丸尾欽造
HP : <http://kawachi-ys.org/>